

## Ⅱ 調査結果の概要

# 1 人口

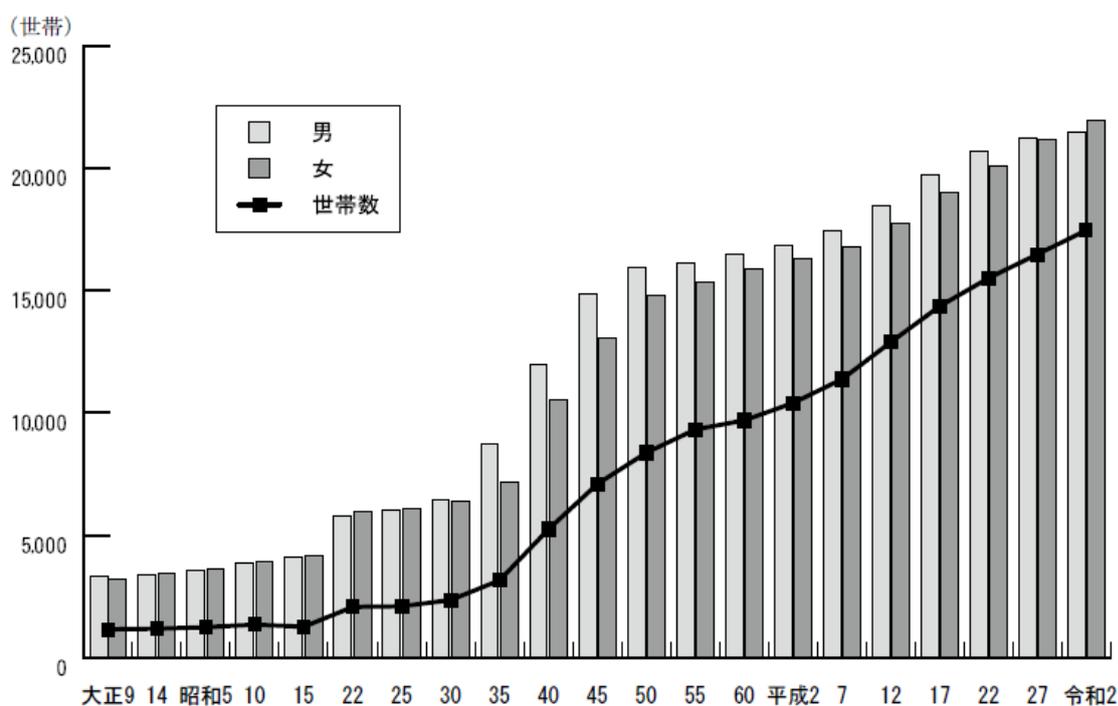
## (1) 前回調査(平成 27 年)より 2.4%増、人口は県内の町で最多

令和 2 年国勢調査結果によると、静岡県の人人口は全国の総人口 126, 146, 099 人の 2.9%にあたる 3, 633, 202 人で、第 10 位の人数となっている。

また、県内の人口を市町別にみると、市では浜松市が 790, 718 人で最も多く、町では長泉町が最多となった。なお、人口が増加した市町は、人口増減率の高い順に袋井市、長泉町、菊川市、掛川市の 4 市町のみである。

長泉町の人口は 43, 336 人、世帯数は 17, 482 世帯で前回調査と比べて 1, 005 人(人口増減率 2.4%)、1, 055 世帯(増減率 6.4%)増加した。人口増加の推移をみると、昭和 22 年調査と昭和 40 年調査の際に飛躍的に増加し、その後も右肩上がりに増加を続けている。

### 長泉町の人口・世帯数の推移



## (2) 65年ぶりに女性の人口が男性を上回る

人口を男女別にみると、男性は 21, 434 人、女性は 21, 902 人となり、女性が男性より 468 人多くなっている。昭和 30 年調査から続けて男性が女性より多い状態が続いたが、65 年ぶりに女性が男性より多くなった。

### 男女別人口の推移

	総数	男	女
平成 27 年	42, 331	21, 229	21, 102
令和 2 年	43, 336	21, 434	21, 902
増加数	1, 005	205	800

### (3) 中土狩、桜堤の人口が前回調査に続けて高い増加率

人口を大字別にみると、下土狩が最も多く 13,444 人、次いで中土狩 5,897 人、下長窪 5,405 人となった。前回調査に比べて減少したのは元長窪、上長窪、下長窪、南一色、竹原で、元長窪と竹原は前回調査に続けての減少となった。

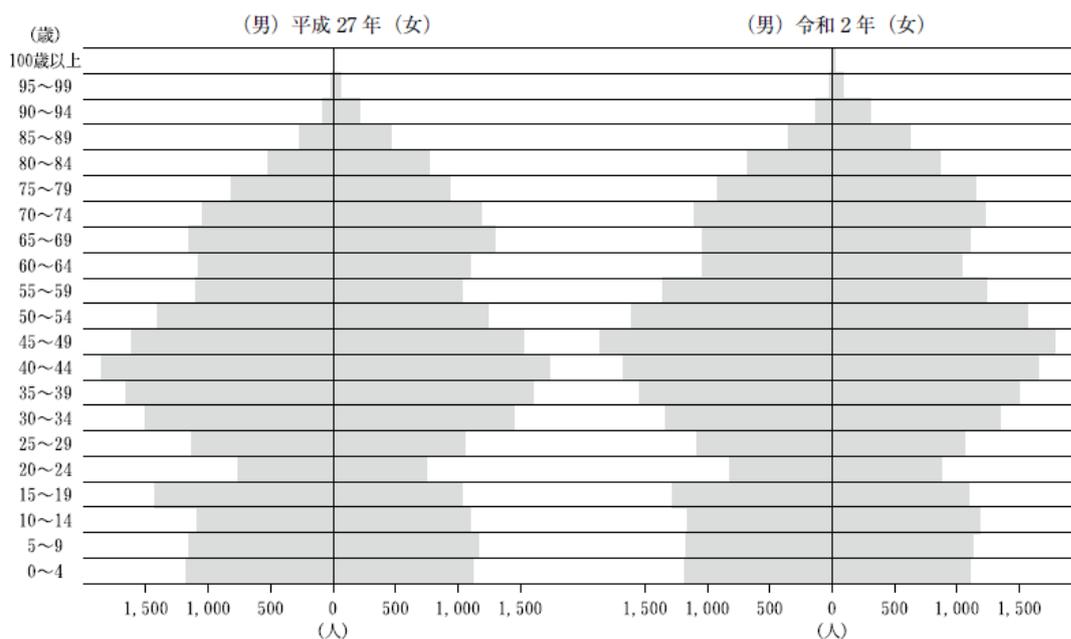
前回比でみると、中土狩の 746 人(前回比 114.5%)増加が最も多く、次いで桜堤 97 人(前回比 110.3%)、本宿 162 人(前回比 107.7%)となった。

#### 大字別人口の推移

	平成 27 年	令和 2 年	増減数	前回比(%)
東野	1,004	1,031	27	102.7
元長窪	691	630	△61	91.2
上長窪	849	780	△69	91.9
下長窪	5,540	5,405	△135	97.6
南一色	2,856	2,802	△54	98.1
納米里	3,227	3,459	232	107.2
上土狩	2,700	2,733	33	101.2
桜堤	942	1,039	97	110.3
中土狩	5,151	5,897	746	114.5
下土狩	13,346	13,444	98	100.7
竹原	3,932	3,861	△71	98.2
本宿	2,093	2,255	162	107.7

### (4) 人口ピラミッドは「つりがね型」

人口の年齢構造を人口ピラミッドで表してみると、「つりがね型」に近い形となっている。この人口ピラミッド型は、前回調査とあまり変わっていない。



### (5) 年少人口、生産年齢人口の割合は県下一

人口の年齢3区分別では、年少人口(0～14歳)6,880人、生産年齢人口(15～64歳)26,520人、老年人口(65歳以上)9,556人となっている。この結果、年少人口と生産年齢人口の割合は微減し、老年人口の割合が1.1%上昇した。

市町別にみると、年少人口の割合16.0%と、生産年齢人口の割合61.7%は県内市町の中で一番高い。また、老年人口の割合22.2%は県内市町の中で一番低くなっている。

そして、長泉町の平均年齢は43.7歳となり、県内市町の中で一番若い平均年齢となった。

#### 年齢3区分別人口の推移

	平成27年		令和2年	
	人口	構成比	人口	構成比
年少人口 (0～14歳)	6,862	16.2	6,880	16.0
生産年齢人口 (15～64歳)	26,348	62.2	26,520	61.7
老年人口 (65歳以上)	8,932	21.1	9,556	22.2
不詳	189	0.5	380	-
計	42,331	100.0	43,336	-

### (6) 15年ぶりに外国人が増加

町内に在住する外国人は401人で、前回調査と比べて112人増加した。これは、平成17年調査以来、15年ぶりに400人を超えた。

町の総人口に占める割合は0.92%で、前回調査より0.24%増加している。

県内の国籍別ではブラジルが27,340人と最も多く、次いでフィリピン、ベトナム、中国となった。

長泉町の外国人は、中国の99人が最も多く、次いで韓国・朝鮮、フィリピンとなっている。また、東南アジア・南アジアの人数が大幅に増加し、全体の約38%を占めている。

#### 国籍別外国人数の推移

	韓国・ 朝鮮	中国	東南アジア・南アジア				イギリス	アメリカ	ブラジル	ハル	その他
			総数	フィリピン	タイ	その他					
平成27年	61	59	77	43	18	16	7	6	26	12	41
令和2年	63	99	153	50	8	95	4	9	24	8	41

### (7) 人口集中地区の人口は引き続き増加傾向

人口集中地区の総人口に占める割合は、平成7年調査で80%を超え、以降増え続け、令和2年調査では90%となった。

また、人口集中地区の面積は、6.97 km<sup>2</sup>で前回調査の6.75 km<sup>2</sup>から0.22 km<sup>2</sup>広がっており、人口密度も5,598.6人と前回調査の5,495.6人から103人増加している。

#### 人口集中地区の推移

	人口集中地区の人口	総人口に占める割合(%)	面積(km <sup>2</sup> )	総面積に占める割合(%)	人口密度(1 km <sup>2</sup> 当たり)
平成27年	37,095	87.6	6.75	25.3	5,495.6
令和2年	39,022	90.0	6.97	26.2	5,598.6

### (8) 流出人口が大幅に増加し、流入人口は減少

長泉町から町外へ通勤・通学する人(流出人口)は14,944人、町外から長泉町へ通勤・通学する人(流入人口)は12,598人で差引2,346人の流出増となっている。

流出先は、沼津市の4,811人が最も多く、次いで三島市2,685人、裾野市2,145人となった。県外への流出人口は1,325人で前回調査の1,224人から101人増加した。

一方、流入人口は、前回調査から181人減少した。流入元の市町は、三島市3,494人が最も多く、次いで沼津市3,023人、裾野市2,024人となっている。

#### 15歳以上の通勤・通学による流出人口・流入人口の推移

	流出人口	流入人口	差引
平成27年	14,501	12,779	1,722 流出増
令和2年	14,944	12,598	2,346 流出増

#### 流出・流入人口上位5市町

順位	流出人口		流入人口	
	市町名	人口	市町名	人口
1	沼津市	4,811	三島市	3,494
2	三島市	2,685	沼津市	3,023
3	裾野市	2,145	裾野市	2,024
4	清水町	949	清水町	905
5	御殿場市	916	函南町	657
—	他県	1,325	他県	331

## 2 世帯

### (1) 1世帯当たりの人員は減少傾向

一般世帯は17,455世帯で、前回調査の16,404世帯から1,051世帯増加した。また、一般世帯人員は42,481人で、前回調査41,255人から1,226人増加している。

1世帯当たりの人員は2.43人となり、減少傾向が続いている。

一般世帯を世帯人員別にみると、増減率の高い順に、1人世帯5,391世帯(前回比114.4%)、2人世帯4,773世帯(前回比106.5%)、4人世帯(前回比105.4%)となった。また、一般世帯を家族類型別にみると、核家族世帯は10,445世帯で、前回調査の9,931世帯から514世帯増加した。一方、核家族以外の世帯は1,458世帯で、前回調査の1,623世帯から165世帯減少している。なかでも「夫婦、子供と親の世帯」が大幅に減少している。

#### 一般世帯数の推移

	一般世帯	一般世帯人員	1世帯当たり人員
平成27年	16,404	41,255	2.51
令和2年	17,455	42,481	2.43

### (2) 未婚は男性が多く、死別・離別は女性が多い

配偶者関係別にみると、有配偶者は男性と女性で大差ないが、未婚は男性8,685人、女性7,172人と男性が女性より1,513人多い。

15歳以上の未婚の割合を前回調査と比べると、男性は1.3ポイント、女性は1.2ポイント上昇している。また、死別・離別では男性が1,191人、女性が3,091人となり、前回調査同様に男性より女性の方が多くなった。

#### 配偶者関係別男女人口の推移

	男			女		
	未婚	有配偶者	死別・離別	未婚	有配偶者	死別・離別
平成27年	8,300	10,914	1,073	6,824	10,825	2,846
令和2年	8,685	10,943	1,191	7,172	10,981	3,091

### (3) 65歳以上の一人暮らし世帯は増加傾向

65歳以上世帯員のいる一般世帯は6,060世帯で、引き続き増加傾向にあり、一般世帯に占める割合は34.7%となったが、前回調査の36.9%より2.2ポイント減少した。

また、65歳以上の一人暮らし世帯(単独世帯)は1,430世帯で、前回調査から270世帯増加した。一般世帯に占める割合は8.1%となり、前回調査の7.1%より1ポイント増加している。なお、男性565人に対し女性が865人で、女性が男性より多くなっている。

#### 65歳以上男女別単身者の推移

	総数	男性	女性
平成27年	1,160	430	730
令和2年	1,430	565	865

### 3 住 居

#### (1) 持ち家率は引き続き県内最低

住宅に住む一般世帯を所有関係別にみると、持ち家が9,958世帯(住宅に住む一般世帯の57.7%)と、前回調査の57.5%とあまり変わっていない。

大字別の持ち家率をみると、元長窪の96.1%が最も高く、次いで東野、上長窪となった。また、最も低いのは桜堤の26.1%となっている。

県内の持ち家率は67.2%で、民間の借家は26.6%となっている。市町別にみると、持ち家率が最も高いのは川根本町の90.9%であり、長泉町の持ち家率は57.7%となり、前回調査と同様に県内で一番低い結果となった。

#### 静岡県内の持ち家率上位下位3市町

順位	持ち家率 上位		持ち家率 下位	
	市町名	割合(%)	市町名	割合(%)
1	川根本町	90.9	長泉町	57.7
2	南伊豆町	87.9	清水町	59.2
3	森町	87.5	御殿場市	61.4

#### 住宅の所有関係別一般世帯数の推移

	持ち家	公営・都市再生 機構・公社の 借家	民間の借家	給与住宅
平成27年	9,224	225	5,596	902
令和2年	9,958	157	6,059	905

#### (2) 一戸建と共同住宅の差が縮まる

住宅に住む一般世帯を建て方別でみると、一戸建は8,637世帯と、前回調査の8,114世帯から523世帯増加し、全体の50.1%を占めている。

また、共同住宅は8,409世帯で、前回調査の7,721世帯から688世帯増加し、全体の48.7%となり、前回調査の48.1%から割合を上げている。

#### 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数の推移

	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成27年	8,114	199	7,721	20
令和2年	8,637	177	8,409	25

## 4 就 業

### (1) 全体の約6割が第3次産業就業者

就業者数は21,100人となり、前回調査の21,092人と大きな変化はない。その内訳は、第1次産業375人(全体の1.8%)、第2次産業6,892人(32.7%)、第3次産業13,685人(64.8%)となり、第3次産業は前回調査から増加して全体の約65%を占めているが、第1次産業と第2次産業は前回調査から減少している。

産業(大分類)別にみると、製造業が5,710人と全体の27.1%を占めている。次いで卸売業、小売業2,852人となった。医療、福祉は2,784人と全体の13.2%となり、前回調査の11.3%から約2ポイント増加している。

#### 産業別就業者数の推移

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
平成27年	421	7,107	12,622
令和2年	375	6,892	13,685

### (2) 女性の労働力人口は増加傾向、男性の労働力人口は減少傾向

15歳以上の労働力人口は21,806人となり、前回調査と大きな変化はなかった。男女別にみると、男性は12,198人と前回調査の12,733人から535人減少したのに対し、女性は9,608人と前回調査の9,050人から558人増加した。家事をしている男性は前回調査390人から404人と微増したのに対し、女性は4,096人となり、前回調査の4,577人から481人減少しているものの、家事をしている女性は男性の約10.1倍となっている。

#### 15歳以上労働力状態別人口の推移

	労働力人口			非労働力人口			
	総数	就業者	完全失業者	総数	家事	通学	その他
平成27年	21,783	21,092	691	12,635	4,967	2,541	5,127
令和2年	21,806	21,100	706	12,174	4,500	2,327	5,347

### (3) 雇用者の割合が増加

就業者数21,100人のうち、雇用者数は18,387人と全体の87.2%を占めている。雇用者数のうち正規の職員・従業員は12,784人となり、前回調査の12,171人から増加した。雇用者総数に占める割合も前回調査の69.1%から69.5%と微増している。パート・アルバイト・その他の数は5,052人と前回調査の4,877人から175人増加しているが、雇用者総数に占める割合は前回調査の27.7%から27.5%と微減した。

#### 15歳以上の従業上の地位別就業者数の推移

	雇用者			
	総数	正規の職員・従業員	派遣社員	パート・アルバイト・その他
平成27年	17,602	12,171	554	4,877
令和2年	18,387	12,784	551	5,052

